

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成17、18年度採択)

中間評価結果(公表用)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	駐車場デポジット制度による受容性と柔軟性の高い都心部自動車流入マネジメント施策の研究と実証	名古屋大学大学院 教授 森川 高行	A

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 研究の見通し、研究の進捗状況はともに良好であり、計画通り研究を継続することが妥当である。

< 参考意見 >

1. デポジットの付与方法によって、このスキームの効果は大きく異なるため、可能であれば複数のデポジットの付与方法を検討して頂きたい。